

情報公開シートⅡ 補足資料

法人名：石巻産業創造株式会社

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

資産運用については、満期保有目的の国債や地方債で運用している。また、平成 23 年 2 月に策定した「経営改善計画」に基づき、全館テナント化を実施しており、東日本大震災による需要増も相まってテナント収益の増加が図られたことにより、平成 23 年度以降は純利益が単年度黒字に転じており、累積欠損金については徐々にではあるが、減少している。なお、被災企業の再建に伴う退去後も、石巻市と連携した企業誘致により、NTT データが入居するなど、一定の効果が見られることから、今後とも満室を維持することで安定的な経営に努め、石巻地域の産業振興に努めていく。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
固定負債	預り敷金 1,894 千円の増	平成 25 年 10 月 NTT データの入居

2 損益計算書に関する補足

(1) 総括分析

売上高で 42,860 千円（対前期比△2,216 千円）、主たる収入源である賃貸事業収入では、37,835 千円（対前期比△2,427 千円）を計上した。内容としては、東日本大震災で入居した丸本組が平成 25 年 7 月末に退去したが、NTT データから 2 階への入居希望の申し込があり、これに伴い（社）健育会が丸本組退去後の 1 階に移転し、2 階に NTT データが 10 月 1 日付けで入居した。これにより健育会の移転費用と NTT データの入居整備費用（カーペット張替等）合計約 2,500 千円の一時的支出があったが、NTT データからの賃貸収入は、既に入居済みの 2 室と合わせて年間 17,176 千円を見込むことができ、安定した収益基盤構築に寄与している。また、トラストパートナーズ（2 室賃貸）が平成 25 年 10 月に退去したが、平成 25 年 10 月 25 日に（株）イメージア・ソリューションが、残る 1 室には平成 26 年 3 月 1 日に（株）ICT フィールドサポートが入居し、平成 26 年 3 月末には満室を維持している。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
施設賃貸収入	2,427 千円の減	退去と次の入居までの期間の減収分
施設賃貸利用 料原価	3,368 千円の増	NTT データ入居に伴う入居替経費

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

<p>平成 26 年 3 月期においては、国債等に係る有価証券利息 4,050 千円の受取り及び預り敷金 1,894 千円の増加により、営業活動によるキャッシュフローが 5,033 千円増加した。</p> <p>また、固定資産の取得並びに投資有価証券の満期償還及び新規取得により、投資活動によるキャッシュフローが 1,065 千円減少した。財務活動によるキャッシュフローの増源はなかった。</p> <p>したがって、平成 26 年 3 月期における現金及び現金同等物の増加額は、3,968 千円となった。</p>
--

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容	変動要因
営業活動による キャッシュ フロー	5,033 千円の増	国債等に係る有価証券利息の受取及び預り敷金の増加
投資活動による キャッシュ フロー	1,065 千円の減	固定資産の取得、投資有価証券の満期償還及び新規取得

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額 (単位: 円)	補助金の使途
なし		

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料（単位：円）	委託業務の内容
石巻市産業振興プランに基づく事業実施業務	911,000 ※消費税及び地方消費税を除く。	地域産業の活性化に向けた無料相談業務及び中小企業経営セミナー開催業務

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額（単位：円）	減免理由
なし		

市が期待する役割、市意見等（別紙）

法人名：石巻産業創造株式会社

担当部署名：産業部産業推進課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

賃貸収入による安定経営を図るため、アドバイザールームを除く全ての貸室をテナント化し、被災企業を積極的に受け入れた他、企業誘致によるテナント募集活動に努めた結果、現在、入居率100%を確保しており、今後も維持できるように努められたい。

また、市の委託事業による経営相談会や新規創業に関する各種セミナー等の開催については、販路拡大や起業を考えている方々の要望に即した内容により、効率的に開催されており、今後も地元企業の経営支援及び産業振興に努められたい。

（2）主要事業の成果、課題

平成25年度のテナント事業では、被災企業の退去があったものの、その後、市と連携した企業誘致活動により新たな企業の入居があったことで、満室を維持しており、入居時期等の関係から若干の減収はあったが、安定した収入基盤を確立しているものと思われる。

また、経営相談会・セミナー等の開催については、市委託事業の経営相談会はもとより、ものづくり企業の技術向上や女性の起業化等をテーマとした各種セミナーの開催により、地域産業の復興に向けた事業を展開しており、今後も市と連携した積極的な事業展開に取り組みられたい。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）に対する意見

（1）貸借対照表

累積欠損金に対する対応策については、平成23年2月に策定した「経営改善計画」に基づき、アドバイザールームを除く全館テナント化による賃貸収入を核とした安定経営を図ることとしており、震災による需要増や企業誘致活動による満室の維持によって、平成23年度以降は純利益が単年度黒字に転じ、累積欠損金については徐々にではあるが減少している。

今後も安定的な経営に努め、石巻地域の産業振興に努められたい。

(2) 損益計算書又は正味財産増減計算書

平成23年度以降は純利益が単年度黒字に転じており、今後も効果的・効率的な経営に努められたい。

(3) キャッシュフロー計算書

今後も効果的・効率的な経営に努められたい。

(4) 市による財政・金融支援等

市の委託事業による経営相談会や新規創業に関する各種セミナー等の開催については、販路拡大や起業を考えている方々の要望に即した内容により、効率的に開催されており、今後も市と連携した事業の実施により、地域の産業振興に取り組むとともに、地域に根ざした法人運営に努められたい。

3 法人に対し市が期待する役割等（担当部署所感）

当該法人に対しては、設立目的に沿った事業展開を促しているが、平成24年度から「ものづくり開成塾」や「メール相談支援事業」、「ホームページによる各種事業の案内」等のゼロ予算事業に取り組むなど、石巻地域の産業振興を図るための活動を積極的に展開している。

今後も収入基盤となるテナント収入を核とした安定経営を図るとともに、市の委託業務の他、起業化支援や地域産業の活性化に向けた事業展開に期待したい。

